

会社設立30周年を記念して 書籍『積小為大 私のインテリア自分史』発刊

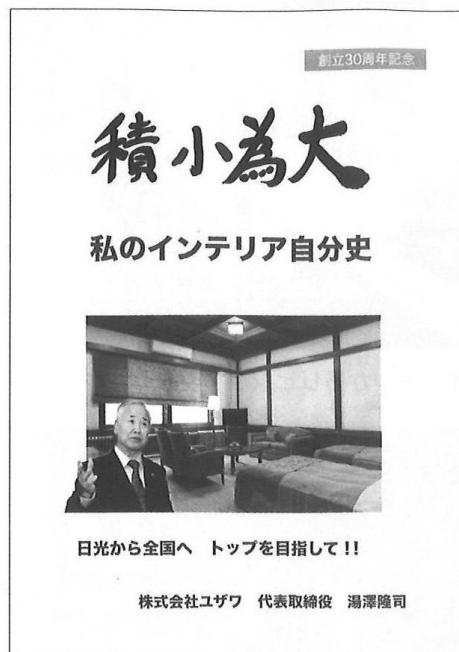
ユザワ

(株)ユザワ(湯澤隆司社長)は、来るべき2021年(令和3年)に、会社設立30周年を迎えることを記念する書籍『積小為大 私のインテリア自分史 日光から全国へ トップを目指して!!』を令和3年1月1日付けで発刊する。

(株)ユザワは、農家の長男であった湯澤社長が、初めて見た世界のインテリアに感動したことをキッカケに、栃木県日光市において1989年(平成元年)3月、湯沢インテリアとしてライトバン1台で創業。代理店として、ウインドー・トリートメント関連を中心に提案型営業を推進、壁紙・絨毯・床材その他の販売・工事も手がけ、1991年(同3年)に資本金1000万円で法人設立した。現在では、従業員約30名。いまま創業の地である日光市の本社を拠点に、3年前から東京営業所も開設、取引先は、(北海道を除く)現在では全国に広がっている。

ちなみに、タイトルに選ばれた「積小為大」(せきしょうだい)とは、小事を積み重ねて大事を成す、だから小事を疎かにしてはいけない、という農政家・二宮尊徳(金次郎)の言葉である。

本書は、昨年6月から1年間、メガソフト社のホームページ「サクセスインテリア」に連載されたエッセイ「私のインテリア自分史」をベースに、明治維新後、各国大使(公使)が豪華な別荘を設け、“夏の外務省”と呼ばれた日光周辺のインテリア関連史跡の紹介に加えて、英国やスロバキアなど世界のインテリア視察記、さらに“日光の山奥”で創業したハンディキャップをいかにして乗り越え、今日に至ったかという立志伝ともなっている。



タイトル『積小為大』は二宮尊徳の言葉

また、本書には、書き下ろしの特別コラム「自称日光インテリア大使『ザ・リッツ・カールトン日光』私的見学会へ」も収録するなど、ICが読んでも十分参考になる内容となっているという。

このほかに、金谷ホテルの平野政樹社長、日光商工会議所の五味淵一友専務理事、(公社)インテリア産業協会の加藤久順専務理事、同関東甲信越支部長の富田順三氏(株)ミタ専務)、栃木インテリアコーディネーター協会の河内英美子会長による祝辞などが掲載されている。



なお、『積小為大 私のインテリア自分史 日光から全国へ トップを目指して!!』は、一般書店では取り扱っていない自費出版物であるため、興味がある人は(株)ユザワまでお問い合わせいただきたいとのことだ。

<http://yuzawa21.co.jp>